

低炭素社会戦略センターシンポジウム「低炭素社会実現のための課題と展望」

日時 平成 27 年 12 月 24 日（木）14:00～17:25

場所 伊藤謝恩ホール

開会挨拶

山田 興一（低炭素社会戦略センター（LCS）副センター長）

本日は低炭素社会戦略センターのシンポジウムに大勢ご参加いただきまして、誠にありがとうございます。さて、2 週間ほど前の COP21 で、温暖化対策に対する新しい枠組みのパリ協定が採択され、アメリカや中国を含む 195 カ国が全員参加で、低炭素社会に向かって、温暖化対策に取り組むという非常に画期的なことが始まります。

低炭素社会に向けて色々なイノベーションが数多く起こってくると思いますが、その中でもやはり、目標を高く掲げ、それに着実に向かって進んでいくという国のイノベーションが促進されるのではないかと考えており、そういう国々がこれからの世界をリードしていくと思われま

す。温暖化対策といいますと、お金も掛かるし大変だと考えられがちですが、中長期的に見ると、それは全く違います。LCS は発足当初から、低炭素社会に向けて効率的な科学技術の研究開発を促進し、それから出てくるであろう結果を新しく適用したときに、どんないいシステムができるかということを考え、そのシステムを明るい低炭素社会の構築に向けて役立てようというのが我々の活動の主眼であり、今日はその主眼に向かった講演やパネルディスカッションがあります。

休憩時間には、我々の詳細な研究内容のポスター発表がありますので、是非、そちらにもご参加いただければありがたいです。これから興味深い話がたくさんありますので、簡単ではありますが、私の話はこれで終わりにさせていただき、この後、文科省の方からご挨拶をお願いしたいと思います。本当に今日はどうもありがとうございました。

以上